

ホタテ健康壁「あわせ」

## シェルペイントの楽しく塗るコツ!

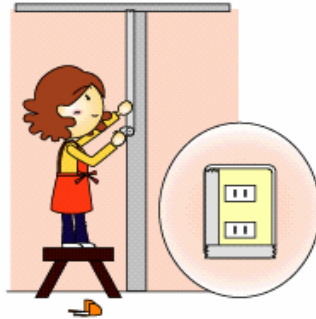
① 頑張ってお部屋の壁塗り替えよう!



② クロスの汚れは拭き取って、めくれている部分ははがさず貼り直し、下地を整えてください。



③ 柱の廻り、器具の廻りには必ずマスキングテープで養生して塗材が他に付かないよう気をつけてね。



④ シーラー（白い下塗材）を塗りましょう。枠廻りや入り組んだ角、器具の廻りなど、ローラーで塗りにくいところは刷毛で塗ったほうがきれいに仕上がるよ。



⑤ シーラーをローラーになじませたら、力を入れずにコロコロ全面に転がしてね。



⑥ シーラーが乾くまでちょっと休憩。（乾くまで約1時間）手に付かなくなったら大丈夫。



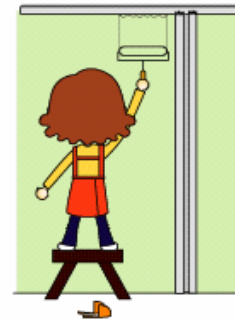
⑦ シェルペイント（1回目）を塗ります。シェルペイントはよくかき混ぜること。枠廻りや入り組んだ角、器具の廻りは刷毛で塗ります。ローラーになじませたら、力を入れずにゆっくりコロコロ全面に転がして塗ってね。（きれいに塗るコツ!）



⑧ 乾くまでちょっと休憩... 表面が白っぽくなり、手で触っても付かなくなったら大丈夫。



⑨ シェルペイント（2回目）を塗ります。1回目と同じように力を入れずコロコロと丁寧に塗ってね。塗ったら養生テープを丁寧にはがします。シェルペイントがタレたり飛び散ったところは、乾かないうちに濡れタオルで拭き取り完成です。



⑩ 使った道具は、水できれいに洗えます。



# 製品安全データシート

作成2009年2月1日

【製品名】	ホタテ健康壁「シェルペイント」
【物質の特定】	単一製品・混合物の区分 : 混合物 含有成分 : ホタテ貝殻粉末、消石灰、プaster、天然樹脂、酸化チタン 国連分類 : 危険物に該当しない
【危険有害性の分類】	分類の名称 : 分類基準に該当しない 有害性 : 粉塵を吸収した時有害作用を及ぼす場合があります : 水と接触するとアルカリ性を呈し目鼻皮膚に刺激がある
【応急処置】	目に入った場合 : 清潔な水で十分に目を洗浄し、できるだけ早く、眼科医の手当てを受ける 皮膚に付着した場合 : 水または石鹸水で洗い落とし、痛みや外観に変化のある場合には速やかに医療処置を受ける 吸入した場合 : 気分が悪くなった時には、直ちに空気の新鮮な場所に移動して安静にし、速やかに医療処置を受ける 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、直ちに医療処置を受ける
【漏洩時の措置】	漏出した物質を紙・布等で拭き取る 洗浄した液などが河川などに流出しないように注意する 大量に河川や公共の場所で漏出した場合は、必要に応じて警察署・消防署・都道府県市町村に届け出る
【取り扱いの注意】	保護具（防塵メガネ・防塵マスク・保護手袋・保護衣）を着用する
【保管上の注意】	雨や湿気を避け乾燥した屋内に保管する
【運送状の注意】	容器の落下させたり、衝撃を加えたり、引きずるなど粗暴な扱いをしない 破袋、容器からの漏れに注意し、粉塵のたたない方法で輸送する 荷崩れ等の防止を確実にこなう 湿気や水濡れに注意する
【廃棄場の注意】	固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する 洗浄水などの排水は、水質汚染防止法等の関連諸法令に適合するように十分注意する
【防露防止措置】	管理濃度 : — 許容濃度 : — 設備対策 : 換気をよくし、粉塵の飛散を防止する 保護具 : 保護具（防塵メガネ・防塵マスク・保護手袋・保護衣）を着用する
【物理・化学的性質】	外観等 : 白色粉末状 沸点 : — 蒸気圧 : — 揮発性 : なし 融点 : — 比重 : — 初留点 : — 溶解度 : —

【危険性情報】 (安全性・反応性)	引火性	:	なし
	発火点	:	なし
	爆発限界	:	上限 なし      下限 なし
	可燃性	:	なし
	発火性	:	なし
	酸化性	:	なし
	自己反応性・揮発性	:	なし
	粉塵揮発性	:	なし
	安定性・反応性	:	水と反応し安定固化する

---

【有害性情報】 水と接触するとアルカリ性を呈し、目・鼻・皮膚を刺激する  
皮膚などに長時間付着した状況では、炎症を起こす可能性がある  
多量に吸入すると「じん肺」になる恐れがある

---

【環境影響情報】 生体影響についてはデータなし、接触した水はアルカリ性を呈するので、環境への  
環境への影響を及ぼさないように注意する

---

【適合法令】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律  
労働安全衛生法（粉塵傷害防止規則）、じん肺法  
海洋汚染防止法

---

ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完璧性や正確性また安全性を保障するものではありません。

この種の製品には、未知の有害性がありうるため、取り扱いには細心の注意が必要です。  
本製品の適正に関する決定はユーザー各位の責任において行なってください。